

茎数は「少ない～やや少ない」

浅水管理と朝・夕の灌漑で分けつ発生を促進しましょう！
田ワキ対策を行い、根の健全化を図りましょう！

1 5月31日現在の生育診断圃の生育状況

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき 酒田市荻島 5/13移植	本年	22.0	112	4.7	24.9
	前年	24.7	168	5.9	37.1
	平年	25.8	146	5.3	34.4
	平年比	85	77	-0.6	-9.5
つや姫 酒田市漆曾根 5/11移植	本年	28.4	133	4.8	27.9
	前年	28.9	176	5.3	31.1
	平年	27.7	143	4.9	30.7
	平年比	102	93	-0.1	-2.8
雪若丸 酒田市前川 5/8移植	本年	21.0	131	5.5	24.5
	前年	20.1	163	5.4	31.5
	平年	20.6	148	5.4	30.4
	平年比	102	89	+0.1	-5.9

生育診断圃の生育は、草丈は「はえぬき」で短く、「つや姫」「雪若丸」で平年並、茎数は「はえぬき」「雪若丸」が少なく、「つや姫」がやや少ない、葉色は平年よりやや薄い～薄いとなっています。活着は良好と見ておりますが、その後、5/16～17の強風と、断続的な降雨・低温のため、生育が停滞し、根の伸長も不良となり、葉色の低下、分けつ発生の停滞につながっていると思われます。

2 今後の気象予報と水管理（分けつ発生促進・ワキ対策）

1か月予報（5月30日発表）によると、平均気温は期間の初め（6/1～6/7）は気温が低くなるものの*、その後は平年並から高くなる予想です。 ※直近の天気予報では晴の見込み

断続的な降雨で深水管理の圃場が多く見られます。分けつ発生を促進するため、日中は3cm程度の浅水管理（日中止水）で地水温を高め、朝・夕の灌漑で昼夜の日較差を維持しましょう。

また、藻類や表層剥離が多くの圃場で見られ、水田内に足を踏み入れると気泡が多く発生し、**土壌還元（ワキ）も進行していると思われます（写真1、2）**。湛水した状態のままだと、ワキが進行し、根の伸長が阻害されてしまいます。圃場とイネの生育をよく観察し、ワキの程度に応じて水交換・夜間落水・田干しのいずれかを実施し、分けつの発生と根の健全化を図りましょう。



写真1 藻類発生(酒田市、5/30撮影)



写真2 ワキ発生(酒田市、5/30撮影)

表 分けつ初期～中期のワキの程度と対策

ワキの程度		生育への影響	対策
微 ↓ 甚	水田に足を踏み込むと	わずかに気泡の発生が見られる	-(なし)
		気泡の発生が多い	根の活力低下
	盛んに気泡が発生する	根張り不良	
晴天時、自然に気泡が発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害、地上部黄化	田干し	

3 雑草対策

昨年は移植後の気温が高く経過し、雑草の生育が早かったことから、除草剤の適用葉齢を過ぎてしまい、残草のある圃場が散見されました。残草対策で除草剤を使用する場合は、**必ず薬剤の使用時期や使用方法を確認し、手遅れになる前に適切に使用しましょう。**

4 病虫害防除

<葉いもち>

田んぼに放置された取り置き苗は葉いもちの発生源となり、周囲の圃場にも伝染します。**まだ補植苗が残っている圃場は早急に処分しましょう。**

<斑点米カメムシ類>

病虫害防除所の発生予察情報では、**斑点米カメムシ類の発生量は「やや多い」と**予想されています。雑草での増殖抑制のため、畦畔・農道等の継続的な雑草対策と本田内の除草を徹底しましょう。



写真3 問題となるカスミカメムシ類

左：アヒゲホリミドリカスミカメ、

右：アサジカスミカメ

「はえぬき」の品質向上に向けて！！

「はえぬき」は現在6割以上作付けされている本県の主力品種です。

初心に戻り、適正な水管理により時期ごとの目標茎数を確保しましょう。

6月10日の目標茎数 14.2本/株(70株/坪)、16.5本/株(60株/坪)

6月5日頃には分けつが発生し始めているか確認しましょう。

まだ出ていなかったら、水交換(ワキ対策)と浅水管理を徹底しましょう。

STOP! 農作業事故
春季農作業事故防止運動強化期間 4/10～6/10